

オンラインを活用した中学生の国際交流について

1 趣旨

オンラインを活用した中学生の国際交流を実施することで、幅広い生徒の多文化共生への理解や語学力向上につなげる。令和3年度は1校で試行的に行い、令和4年度以降については、結果を踏まえて検討する。

2 交流者

大胡中学校2年生（全6学級）と台湾新北市・中正國民中學2年生（21学級中の6学級）※大胡中と中正國民中は姉妹校で、平成5年から19年まで直接交流をしていた。

3 交流の時期

2021年11月16日（火）～18日（木）

交流する時間は、休憩を含めて80分程度。6クラス別々の時間帯で交流予定

	9時10分～10時30分	14時10分～15時30分
11月16日（火）	大胡中2年1組	大胡中2年2組
11月17日（水）	大胡中2年3組	大胡中2年4組
11月18日（木）	大胡中2年5組	大胡中2年6組

4 交流内容

(1) オンライン会議システム Zoomを使用

(2) 交流言語 英語

(3) 実施体制

各クラスを6つの班に分けて班同士で交流する予定。一つの班の人数は4～5人。

(4) 交流方法

①事前

- ・自己紹介の手紙を英語で書いてお互いの学校に送り、交流相手の班のメンバーについて、大まかに理解する。
- ・受け取った手紙の相手がお互いの市に遊びに来ることを想定して、相手を楽しませるような観光プランを各班で立てて、発表の準備をする。

②当日

- ・学級全体で授業の流れなどについて確認してから、班ごとに分かれて、お互いに自己紹介をする。
- ・はじめに大胡中学校の生徒が自分たちの考えた前橋市の観光プランを発表し、中正國民中學の生徒の質問に答えながらやり取りをする。
- ・次に発表者を交代して、中正國民中學の生徒が新北市の観光プランを発表し、大胡中の生徒が質問しながらやり取りをする。
- ・最後に、全体で感想を発表したり、今後の抱負を述べたりする。